

2019—2020 年度横浜港南ロータリークラブ  
会長挨拶

歴史と伝統の横浜港南ロータリークラブ 50 周年の会長を務めさせて頂くことになりました根本でございます。

多くの先輩ロータリアンが在籍する中、私のような若輩者が周年会長の重責を務めるにあたり身の引き締まる思いではございますが、皆様にたくさんのご指導を頂きながら 1 年間一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度はクラブ創立 50 周年の年であり、また合わせて港南区政 50 周年の年であります。9 月 28 日にはロイヤルホールヨコハマでの当クラブ記念式典、そして 11 月 2 日には区役所との共催事業として庁舎の壁面を利用したスポーツクライミング (ボルダリング) の体験イベント等、大規模な事業が目白押しとなります。いずれの事業も私たちのクラブにとって大事な通過点ではありますが、最も大切なことはこれから先、60 年、100 年と歴史を積み重ねる為に何を成す 1 年にするかということです。クラブの歴史と活動は句点ではなく、読点であると思います。この 50 周年で「。」で終わる訳でなくあくまで「、」に過ぎないのです。それにはしっかりとしたクラブ運営と奉仕活動を誠実に実行していくこと、更に具体的に発信すると「行きたくなる例会」、それは「聴きたくなる卓話者」や「食べたくなる美味しい昼食」であるし、「行きたくなるイベント」であると思うのです。

これはプログラムが「聴きたくなる卓話者」を考え、SAA が「食べたくなる美味しい食事」を考え、親睦が「行きたくなるイベント」を考え、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕がロータリアンとしての原理に基づいた奉仕活動を考える。それを会員皆でディスカッションすることでブラッシュアップをしていく。

これらを丁寧に実行していくことで自然に退会者も減るし、無理して勧誘しなくても自然に新入会員も増えていくと思うのです。

とはいえ、これは当該年度で達成することはとても難しいことかもしれません。しかし愚直に継続し続けることで必ず魅力の絶えないクラブになると信じています。そしてそれには皆様の協力が絶対に必要です。

どうぞ 1 年間よろしくご指導の程お願い申し上げます。

令和 1 年 7 月 3 日  
横浜港南ロータリークラブ  
2019—2020 会長 根本雄一